

用語の説明

C0



歯の表面的な脱灰です。
フッ素の使用で修復できます。

C1



虫歯のはじまりです。
痛みはありませんが治す必要があります。（治療回数1～2回）

C2



冷たい水や甘い物がしみるようになります。（治療回数1～2回）

C3



Pul
(歯髄炎症)

虫歯が神経まで進んでいます。
神経を抜いて根の治療をしていきます。（治療回数5～6回）

C3



Per
(歯根膜炎)

根の先に炎症があります。
消毒を繰り返します。（治療回数7～8回）

C4



虫歯がかなり進んでいますので、
痛んだり、
歯ぐきが腫れたりします。

In



金属をつめる 2～3 回

Ck



金属をかぶせる 2～3 回

CR



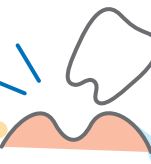
歯の色と同じもの
(レジン) をつめる 1～2 回

Rct



神経の治療をする 5～6 回

Ext



歯を抜く 1 回

力



経過をしばらく見ます

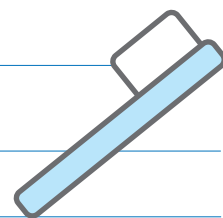
※状態によって治療方法、回数が変わることがあります。

サリバテスト : だ液を取って虫歯になりやすいかどうかを調ます。
(唾液検査) 調べた結果をもとに、予防のプログラムを提案します。

ハブラシ指導 : 食生活やブラッシングのポイントなど、
予防についてお話し、虫歯の原因を改善していきます。

フッ素 : 歯質の強化 (虫歯予防)

シーラント : 虫歯になりやすい奥歯の溝にレジンを入れ、予防します。



【その他の口腔疾患】

口呼吸、及び異常嚥下（舌の位置が正しく定まっていない）によって、
お口が開いたままの状態になり、
歯並びが悪くなったり、歯肉炎や咬み合わせなどにも大きく影響してきます。
指しゃぶりをするのも悪影響を及ぼします。